



## とうぼう よげんしゃ 逃亡した 預言者

せいしよ なか きょうみ ぶか はなし かみさま し ぶん よげんしゃ  
 聖書の中には、こんな興味深いお話があります。神様がご自分の預言者ヨナに、  
 おお まち ニネベへ い かれ じゃあく かみさま ひじょう ふ かい おち  
 大きな町ニネベへ行って、彼らの邪悪さを神様が非常に不快に思っておられる  
 ことを告げ、警告するようにと言われました。ところが、ヨナはそうしなくなかった  
 ので、ニネベへ いく かわりに、ほんたい ほうかく い ふね の 乗りました。

かみさま ふじゅうじゆん こころよ おち うみ  
 神様は、ヨナの不服従を快く思われませんでした。まもなくすると、海は  
 おお 大しけになりました。おそれおののいた すい ふ かみかみ いの ふね  
 水夫たちは、自分たちの神々に祈り、船を  
 軽くするために つ に うみ な す まった こう が  
 積み荷を海へ投げ捨てましたが、全く効果がありませんでした。

そのころ、ヨナはねむっていました。水夫たちは、しけの原因がヨナと関係ある  
 のではないかと疑いました。ヨナは、自分が神様にそむいたことを認め、自分を  
 うみ な かみさま しず すい ふ い  
 海に投げこめば、神様はしけを静めてくださるだろうと、水夫たちに言いました。  
 ヨナが海に放りこまれると、しけがやみました。けれども、神様はあわれなヨナを  
 そのままにはしておかれませんでした。大きな魚を送って、ヨナを飲みこませたの  
 です。・・・

このドキドキするようなお話の続きは、せいしよ しよ か  
 聖書のヨナ書に書かれているので、  
 よ 読んでみましょう。